

2020 年度関東大学将棋連盟春季大会方針

作成日時：4/7

① 春季個人戦

(i) 学生名人戦が中止になった場合

中止が分かった時点で春季個人戦を中止する。

(ii) 個人戦開催中に学生名人戦が中止にならなかった場合

二日制を採用し代表選手 9 人を選出する(日程は 5/31,6/7)

大会の全日程を完遂出来ず中止となった場合はその時点で勝ち残っている選手の
中から無作為に 9 人を選び代表選手とする。(恐らく関東で地区予選が行えな
かった場合学生名人戦は中止になると思います)

※二日制についての説明；普段は 8 シード等含め 2 日目に 64 人進めるように初日のブ
ロック数を決めているが今回の二日制では 8 シード等を含め 2 日目に 72 人進めるよう
に初日のブロック数を定める。そして 2 日目にくじを引き 8 人トーナメントを 9 つ作
り各トーナメントの優勝者を代表選手とするものである。

2 日目シードになる資格を有する者；前回大会ベスト 8，役職経験者の理事
また、8 シードの人は 1 つのトーナメントの山に最大 1 人配置される。

初日最終戦からの参加となる者；理事

ベスト 16 経験者については普段と同様の扱いとする。

② 春季団体戦

(i) 富士通杯が中止になった場合

中止が分かった時点で春季団体戦を中止する

(ii) 団体戦開催中に富士通杯が中止にならなかった場合

持ち時間を 40 分切れ負けとし 2 日で終わらせる。(日程は 6/14,21)

大会の全日程を完遂出来ず中止となった場合は前年度富士通杯関東第
一代表と第二代表をそのまま関東代表とする。(恐らく関東で地区予選が行え
なかった場合富士通杯は中止になると思います)

※団体戦の全日程を完遂出来ず中止となった場合順位の変動等は一切行わない

③ 東日本大会

東日本大会参加地区(北海道・東北・北信越・関東)のいずれかの地区で地区予選
が行えなかった場合は中止あるいは冬もしくは春に延期する。延期となった場合は
代表選考は初めからやり直す。場合によっては前例にない方法を採用することもある。

東日本大会を行う場合は 7/5 に東日本選抜トーナメントを A 級 3~6 位と B1~C2 級
優勝校で行い優勝校・準優勝校を関東代表とする。

この日程をこれ以上延期することはありません。開催ができない場合は中止します。